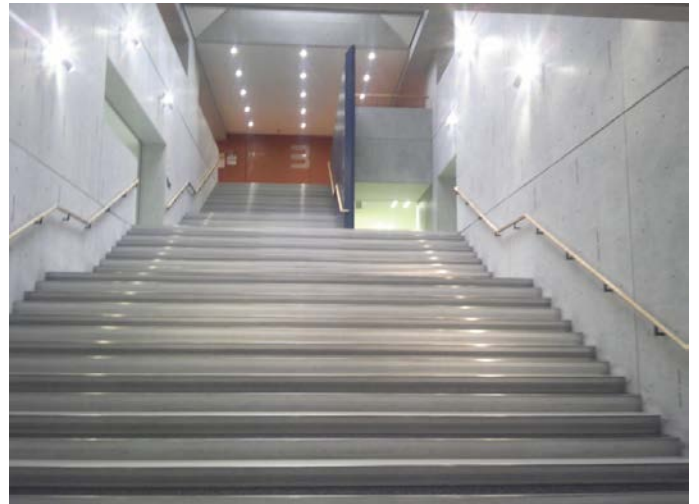


明治大学附属中野中学・高等学校

市進学院主催 学校訪問会レポート
2016年 5月 24日 (火)

2016年5月24日、季節外れの暑さの中、明治大学附属中野中学・高等学校の学校訪問会が行われました。

同年3月に新高校棟が完成し、校舎に入ると広々とした中央階段が目飛び込んできます。



会は420名収容できる「櫻山ホール」で行われました。

大渡学校長より、校訓である「質実剛毅・協同自治」に基づく教育理念をお話いただきました。あいさつなどの「礼儀」、服装・頭髪などについての「校則」、充実した「授業」、この3本柱を強調されました。

入試広報委員長海老澤先生から、学園の合い言葉「みんなで仲良く正直に真面目に精一杯努力しよう」を実践できれば立派な社会人になれる。素直で思いやりのある生徒が多く、男子校ならではの強い絆がある、ということでした。



新中学棟、高校棟はすでに完成し、快適な空間で授業が受けられます。

また、2017年8月には食堂・図書館などがある共用棟が、10月には第2体育館(兼講堂)が完成します。さらに、2018年1月にはグラウンドも広くなり、「文武両道」を実現する充実した施設、環境が整います。



説明会では、先生方の「生徒一人ひとりを大切に育てていく」という熱心なお気持ちがとてもよく伝わりました。学業だけではなく、時間やルールを守ること、あいさつや身だしなみなどのしつけにも常に気を配っていることがわかりました。

学校見学のときに、生徒が「こんにちは！」と元気にあいさつしていたのはとても印象的でした。「知・徳・体」の3つをバランスよく身につけるといふ、教育方針通りの生徒たちがそこにいました。